

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和7年度 第1回 桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者会議
開催日時	令和8年1月16日（金） （開会）午後2時00分・（閉会）午後4時00分
開催場所	桶川市役所5階 全員協議会室
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	砂川委員、山中委員、江森委員、柳田委員、黒須委員、 吉田（耕）委員、坂田委員、町田委員、大江田委員、櫻井委員
欠席者氏名 （委員）	田中委員、新妻委員、吉田（泰）委員、都築委員
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 本庄部長、向井副部長 企画調整課 野原係長、吉野主任、竹内主事
会 議 事 項	議 題
	【概要説明】 （1）現戦略の概要について 【議題】 （1）総合戦略の進捗状況について
	決定事項等
	■本日の御意見等を踏まえ、今後の施策や取り組みを推進する。
配布資料	資料1・・・総合戦略の概要 資料2・・・桶川市の人口推移等 資料3・・・年齢別人口動向等 資料4・・・社会動態・自然動態の推移 資料5・・・成果指標の推移一覧 補足資料1・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者 会議委員名簿 補足資料2・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者 会議設置要綱 補足資料3・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
概要説明 (1) 現戦略の概要について	
事 務 局	資料 1 ～ 資料 4 に基づき、現戦略の概要について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	なし
議題 (1) 総合戦略の進捗状況について	
事 務 局	資料 5 に基づき、成果指標の達成状況について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	市民意識調査を指標としている項目について、データが抜けている部分がありますが、その理由を説明してください。
事 務 局	市民意識調査は、2年おきに実施しています。また、経年比較できるように調査項目を設計しておりますが、時代や社会環境の変化に応じて設問を追加等しております。このため、数値が記載されていない箇所がございます。
委 員	近年、鴻巣駅周辺では高層マンションが多く建設されていますが、桶川市ではあまり見られません。鴻巣市と桶川市では、法律やまちづくりの基準などに違いがあるのでしょうか。 マンションなどの開発は、人口増に寄与すると思います。
事 務 局	都市計画法などの法律や各自治体の条例などによって、建築物の規模や用途など様々な制限がございますが、桶川市と鴻巣市は同じ高崎線沿線の地方公共団体であり、駅前など類似した地域であれば、規制に大きな違いはないと思います。 高層マンションなどの建築物の開発が行われるかにつきましては、建築可能な土地の有無と市場性が主な要因になってまいります。
委 員	「住みよいまちだと思う市民の割合」が年々上昇しているが、その要因をどのように分析されていますか。
事 務 局	市民意識調査の中で「住みよいまちだと思う理由」について設問を設けております。その理由として、「住み慣れていること」や「災害の心配が少ないこと」を挙げる方が多くなっております。また、令和元年度と比べますと、土地区画整理事業の完了や駅東口駅前広場の整備進展なども、市民の皆様の実感として、数値に表れているものと推察しております。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委 員	市民意識調査の結果をしっかりと分析していただくとともに、県内唯一の防災道の駅に認定された「道の駅べに花の郷おけがわ」を市民の皆様幅広く周知するなど、「住みよいまちだと思ふ市民の割合」の数値を上昇させる取り組みを今後も推進していただきたいと 【意見】
委 員	少子高齢化が進み地域の賑わいが失われつつある中で、住みよいまちをつくるためには、高齢者が安心して生活できるよう医療や公共交通の充実が不可欠だと思いますが、今後どのようにまちづくりを進めていく考えでしょうか。
事 務 局	超高齢社会が一層進展する中、通院や買い物、公共交通といった生活に身近な分野のニーズが今後、さらに高まっていくものと認識しております。 本市では、市域の各地区に生活機能を集約する拠点を設定、各拠点間を交通ネットワークでつなぐ、集約型都市構造の形成を推進しております。この中で移動手段の充実が、重要な課題として捉えております。 また、少子化を背景とする労働力不足が顕在化しておりますが、行政においても内部業務と市民向けサービス双方のデジタル化を推進することで、業務の効率化と市民サービスの充実を図り、持続可能なまちづくりを推進して参ります。
委 員	「図書館の貸し出し冊数」が減少傾向にあります。書籍のデジタル化が進み、図書館へ来館して書籍を借りる利用者が減る中、目標を達成するためには、地域性やターゲットに合わせた特徴的な蔵書構成とするなどの工夫が必要だと思います。この点について、どのように考えていますか。
事 務 局	「図書館の貸し出し冊数」の減少については、デジタル書籍の進展や本離れが主な要因であると推察しております。 本市には、駅前の中央図書館や坂田地区にある坂田図書館など4館の図書館があります。周辺の立地環境に応じて、施設の開館時間や蔵書構成を変えるなどしております。図書館の貸出冊数が、今後どのように推移していくか、引き続き注視して参ります。
委 員	市内の現状を少し話させていただいたうえで、今後のまちづくりに関する協議に活かしていただきたいと思っております。 川田谷地区は市街化調整区域となっており、農地を転用して住宅を建設することが簡単にはできない地域です。市域で最も少子高齢化が進んでいます。その影響で、空き家や遊休農地などの問題が深刻化しています。川田谷地区や加納地区といった田園地域も、1つの桶川市として考えていただき、持続可能なまちづくりに向けて議論を深めていただきたいと思っております。【意見】
事 務 局	川田谷地区は市街化調整区域となっており、市街化を抑制する地域となっています。地域毎に土地利用の制限が異なるため、人口動態は、地域の状況によって変化し同一とはならない状況です。 そうした中、川田谷地区では「観光まちづくり拠点」として「道の駅」を整備いたしました。本市では、地域ごとに生活機能などを集約する拠点を設定、拠点間を交通ネットワークで結ぶ集約型都市構造の形成に取り組んでおります。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	人口減少や少子高齢化の進展、法規制などを踏まえ、引き続き、持続可能なまちづくりを推進してまいりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。
委 員	「市内に所在する法人数」について、令和5年度から前年度と比べ大きく増加していますが、経済環境の変化や大規模な工業団地の開発などの要因があるのでしょうか。
事 務 局	経済環境の変化や工業団地の開発ではなく、集計手法の違いによるものです。従来の集計手法に変えた資料を後ほど差し替えいたします。 ※ 次のとおり資料5を修正 評価：法人数は微増傾向 令和5年度 1,817 法人→1,679 法人 令和6年度 1,828 法人→1,704 法人
委 員	市内就業率の目標値を 32%とした理由と最新の数値を説明願います。
事 務 局	市内就業率の目標値につきましては、現状の令和4年度の31.9%を維持することとしております。 また、市内就業率は国勢調査の結果に基づいております。令和4年度の数値は、令和2年国勢調査の結果となっております。今年度実施された令和7年国勢調査の結果は、現在、国において集計が進められておりますので、最新の数値をお示しすることができない状況です。
委 員	市民意識調査の結果を見ると、全体的に概ね高い評価となっておりますが、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という設問では「ふつう」を選ぶ人が多く、これを「満足している」側へとシフトさせる必要があると思います。 そのためには、桶川で子どもを育てたいと感じていただける環境の整備や魅力発信が重要だと思います。少子化の影響で幼稚園・保育園業界は、深刻な人材不足が課題となっております。子育てで選ばれるまちとなるためには、行政による助成や支援も視野に、官民一体となって、この課題に取り組んでいく必要があると思います。 【意見】
委 員	人口減少が深刻化する現代において、着実に人材を確保するためには、受け身ではなく、市から積極的に情報発信していくのも大切だと思います。【意見】
事 務 局	結婚、出産、子育てに関する満足度（子どもを生み育てやすいまちだと思う市民の割合）につきましては、ハード、ソフトにわたり、ニーズに即した事業に、引き続き取り組んでまいります。 人材不足に関する取り組みとして、令和7年度から民間保育施設が新たに雇用する保育士を対象に、一人あたり10万円を補助する事業を実施しております。 今後も、子どもを生み育てやすいまちづくりに向け、官民連携して取り組んでまいりたいと考えております。
委 員	令和7年11月に、鴨川保育所がリニューアルして素晴らしい施設となりました。こうしたことを市外の子育て世代の方々にPRしても良いと思います。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事 務 局	市内外に向けた市の魅力発信については、SNS やホームページ、広報等を通じて、工夫しながら情報発信に努めて参ります。
委 員	人口減少に対応していくためには、限られた財源の中で思い切った目玉政策を実行するなど、予算にメリハリをつけることも必要だと思います。【意見】
事 務 局	本市においても子育て支援は重要な政策の一つの柱として捉えております。人口減少は全国的な課題となっており、多くの自治体の子育て支援政策を行う中で、予算にメリハリをつけるということも大変重要な視点だと認識しております。今後も子育て支援施策の実効性を高められるよう、各事業を推進して参りたいと考えております。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
委 員	それでは、本日いただいたご意見を踏まえ、今後の施策や具体の取り組みを進めていただければと思います。
事 務 局	承知いたしました。
その他	
座 長	事務局や委員の皆様から、全体を通じて、ご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。
委 員	意見等なし。
座 長	それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回桶川市デジタル田園都市構想総合戦略有識者会議を閉会いたします。お疲れ様でした。